

10/17 五 旗

被害者に謝罪なし 裁判争う姿勢 統一協会会見

文部科学省が統一協会（世界平和統一家庭連合）の解散命令請求を東京地裁に申し立てたことを受けて、協会側は10日、東京都渋谷区の本部で記者会見を開き、裁判で全面的に争った。被害者への謝罪はせず、出席した記者から「被害者の声をどう受け取る」と問うた。

「け止めていたのか」と
の質問も出来ました。
統一教会の西村健男
法務局長は、解散命令
請求について「政府が
特定の宗教団体をつ
ぶす」これが「先の前例
になる」と反論しまし
た。多額の献金を協会
から求められたことや
経済的被害を受けた
元信者や家族への謝罪
や反省の言葉はない、
献金は信者の自主的な
行為で「宗教的目的か
ら外れていないとは言え
ない」と正当化しまし
た。

記者会見をテレビで
視聴した元信者の山本サエコさん(仮名)
は「宗教2世問題ネットト
ワーク副代表」は「統
一協会は信者からの集め
た資金で韓国に豪華宮
殿を建て、リゾート開
癡を進めるなど財産的
利益を目的に活動して
いることは明らかで
す。社会的に相当とほ
蓄えない高額献金に
より、家庭崩壊や自己
破産をした人もいま
す。2世に対する人権
侵害にも触れず、被害
者を匿き去らにしてい
る」と感じた」と述べま
した。